

## 病院の理念

わたしたちは、患者さまを第一に考え、いのちを大切にす最善の医療を行い、地域に貢献します

## 基本方針

わたしたちは、患者さまのことを考え、いのちを大切にします

1. 市民から信頼される、安全な医療を行います
2. 良質な医療を行うために、つねに新しい知識と技術を身につけるように努めます
3. 地域のニーズに合った医療を提供することで、地域に貢献できる病院をめざします
4. 地域の医療の中心として、ほかの医療機関との連携に努めます



## 新年度のご挨拶

院長 小林 光 樹

平成24年度もこれまでと同じように当院地域医療連携室を通して、いろいろとお付き合いを頂きまして、ありがとうございました。平成25年度もさらに地域医療連携室の充実をはかり、お互いの意思疎通を行いながら、連携を強めて行きたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

このところ、気候も大分暖かくなって来ました。もうそろそろ栗駒山にも種まき坊主が姿を表すのではないのでしょうか。たくさん収穫を目指して、期待を込めて種まきをする季節であると思います。私たちも連携という作物に実りある仕事ができることに期待して、種まきをしていきたいところです。

さて、平成25年度は栗原中央病院がもっと親しみやすく、人が集まりやすい雰囲気を作りあげたいと思っています。例年5月の第2週は看護週間に合わせて、行事を行ってきました。これに加えて、今年は栗

原中央病院を詳しく知ることができたり、訪れてよかったと思えたりするような機会を作る予定にしています。ぜひ足を伸ばしていただくとありがたいと思います。

また、別の企画として、病院のスタッフをより知っていただく機会を作りたいと思っています。そこで、今年度に地域医療連携室で開催する講演会には当院のスタッフに話しをしてもらいたいと考えています。どのような専門的な知識や技術を持っているとか、こういう経験や知り合いがいるので仕事に役立ていくことができるとか、院内にいる私達だけではなく、院外の方々によりいっそう知っていただくことで、お互いの連携が取りやすくなるのではないかと思います。

連携という絆を通してお互いに協力しあっていくことで、栗原の人たちの健康と命を守って行きたいと考えています。これからもよろしく願いします。

# 新規採用職員紹介



おおいずみ いつき  
大 泉 樹 整形外科医員  
出身地 宮城県

高齢化に伴い、整形外科の役割がますます重要になっている事を日々実感しております。微力ながら地域医療に貢献していきたいと思ひます。よろしくお願ひします。



平成 25 年 4 月 1 日付で採用となりました先生方です

みねぎし みちと  
峯岸 道人 外科医長  
出身地 宮城県



気仙沼市立病院より異動して参りました。専門は外科です。

Sub speciality は内分泌・甲状腺疾患の診断と治療です。栗原市の地域医療に貢献できるように日々精進していきたいと思ひます。



よしごえ ひとみ  
吉越 仁美 内科医員  
出身地 宮城県

皆様、はじめまして。4月より内科医としてお世話になります。吉越仁美(よしごえひとみ)と申します。生まれ故郷である県北の地で医療に携われることを大変嬉しく思ひます。糖尿病等の慢性疾患の診療を中心に地域医療へ貢献できるように努力して参りますので、よろしくお願ひ申し上げます。

かのう しんすけ  
加納 伸介 内科医員  
出身地 宮城県



4月から内科医として赴任致しました。地域の方々のニーズにこたえられるよう、少しずつでも診療の幅を広げる努力をして参りたいと思ひます。よろしくお願ひします。



あらい ゆたか  
荒井 豊 理学療法士長

平成 25 年 4 月 1 日より栗原市立栗原中央病院リハビリテーション(以下リハビリ)科、理学療法士長となりました荒井豊です。平成 11 年に理学療法士免許を取得し、今年で理学療法士 15 年目となります。これまでは総合南東北病院(岩沼)、東北大学病院に勤務いたしまして、救急・急性期のリハビリから在宅での訪問・通所リハビリまで従事しておりました。これからは地域の皆様に愛される病院・信頼されるリハビリ科を目指し努力して参ります。宜しくお願ひ致します。



たかはし てるこ  
高橋 輝子 副院長



4月1日付で栗駒病院より異動して参りました高橋です。これまで四季折々に栗駒山を間近に見ながら生活してきました。ご存じのとおり栗駒山は三県にまたがる裾野の広い山であり、それぞれの地で親しみを持ち愛され続ける地域の象徴でもあります。この山のように、地域の患者様のため充実した医療サービスを提供できるように歩んで参りたいと思ひますので、皆様のご指導ご協力をお願ひします。

## 臨床研修医



S.A



Y.G

どうぞよろしく  
おねがいたします



## 部署紹介

### リハビリテーション科



本院は地域の中核病院としての役割を認識し、地域住民、患者の要望及び医療需要に的確に応えられる患者中心の医療・看護サービスを実施することを目的としております。

本院におけるリハビリテーション医療の役割は、運動器疾患や脳血管等疾患、呼吸器疾患などの多様な疾患に対し、急性期および回復期リハビリテーション医療を提供することにあります。地域との連携を強め、介護サービス、その他社会資源の活用を行い、医療・保健・福祉の提供が継続して実施できるようこれからも努めてまいります。

当リハビリテーション科は、リハビリテーション科長（整形外科部長 兼務）1名、理学療法士9名、作業療法士3名、言語聴覚士2名のスタッフを揃え、チームアプローチを基本としたリハビリテーションサービスを提供しております。

患者様や地域のための充実したリハビリテーション医療の提供には、宮城県内の病院、栗原市内とその近隣市内の医療機関、介護施設等の皆様との連携が重要と考えております。皆様の御協力の程、宜しくお願いいたします。



### 報告 『やなせなな コンサートと講話』

3月4日に開催いたしました「やなせなな コンサートと講話」は、約200名の皆様にお集まりいただきました。心に沁みわたる歌声とがんの闘病についてのお話でした。ありがとうございました。



### ご紹介いたします

花山診療所に新しく診療所長が就任されました

すずき たかし

鈴木 高 診療所長 (60)

出身地 福島県いわき市

趣味・特技 低山登山、温泉巡り

好きな言葉 ならぬものはならぬ

至福の時間 家でのおんびりしている時



### 平成 25 年 3 月 31 日付け退職者

内科部長	小松 誠司	退職
整形外科副医長	小笠原 将教	退職
副院長	宮崎 いく子	勤務延長期限満了
外来看護師長	大場 八重子	退職
理学療法士長	伊藤 英二	退職

ありがとうございました

# 学会・研修会・論文発表



☆胆と膵 Vol.33 (12) P.1235~1238, 2012

特集 生活習慣病と胆・膵疾患

『脂質代謝異常症と急性膵炎』…佐藤晃彦<sup>1)</sup>, 小泉 勝<sup>2)</sup> 1) 栗原市立栗原中央病院内科, 2) 同 健診センター

☆理学療法のみ歩み 一宮城県理学療法士会 活動と記録一 Vol.24, No.1, 2013

特集 宮城県理学療法士会 ボランティア体験記 P.21

…伊藤英二 (前栗原市立栗原中央病院) ボランティア実施地: 一迫老人福祉センター、金成延年閣

…若生典子 ボランティア実施地: 金成延年閣

☆宮城県対脳卒中協会会報 vol.101 2013.3.15 一財団法人宮城県対脳卒中協会一

リハビリ施設訪問 P.1

『地域と共に歩むリハビリ目指す』…リハビリテーション科

『在宅への復帰を目標に』…院長 小林光樹

☆第194回日本消化器病学会東北地方会 2013.2.9日 ~仙台市~

『総胆管結石に対するEST 截石後のENBD 留置、生食洗浄は結石再発抑制に有用である』

…佐藤晃彦<sup>1)</sup>, 佐藤修一<sup>1)</sup>, 小西秀知<sup>1)</sup>, 荒井 壮<sup>1)</sup>, 木田真美<sup>1)</sup>, 布施 香<sup>1)</sup>, 小林光樹<sup>1)</sup>, 小泉 勝<sup>2)</sup>

1) 栗原市立栗原中央病院 内科, 2) 栗原市立栗原中央病院 健診センター

『栗原中央病院のB型慢性肝炎に対する治療の検討』

…木田真美, 佐藤修一, 小林光樹

☆第198回日本内科学会東北地方会例会 2013.2.16日 ~仙台市~

『食事、運動、薬物療法にて著明な改善をみた非アルコール性脂肪性肝炎 (Non alcoholic steatohepatitis : NASH) の1例』

…三浦平寛, 木田真美, 佐藤晃彦, 鈴木慎二, 中山昇一, 佐藤修一, 小林光樹, 同 健診センター 布施 香, 小泉 勝

『アルコール性低血糖昏睡の回復後に、下血、門脈ガス血症を併発した1例』

…武井健太郎, 小西秀知, 佐藤晃彦, 千葉貴彦, 荒井 壮, 赤井健次郎, 小松誠司, 千田光一, 小林光樹, 同 健診センター 小泉勝

☆第11回日本ヘルニア学会学術集会 2013.5.10-11 ~仙台市~

『当院におけるメッシュ選択と術式の定型化への取り組み』

…名久井雅樹

☆気仙沼マルチ講演会 2013.2.19 ~気仙沼市~

『膵胆道疾患 診療のポイント』…内科部長 佐藤晃彦

☆第3回宮城県県北サポートネットワーク講演会 2013.3.1 ~大崎市~

『摂食・嚥下障害への取り組み ~VFの運動分析から考える~』…言語聴覚士 小玉明菜

☆第69回日本放射線技術学会総会学術大会 2013.4.11-14 ~神奈川県~

『The Influence of Seismic Vibration on MR Scanners Observed in the Great East Japan Earthquake. Factors related to “slipping off” of non-anchored MR scanners』

…Takeo Hikichi Department of Radiology, Kurihara Central Hospital

Fumio Maeyatsu Department of Radiology, Miyagi-Kosei Association Izumi Hospital

Yoshihiro Abe Department of Radiology, Sendai Medical Center

Makoto Hishinuma Department of Radiology, Sendai Kosei Hospital

Yoshio Machida Tohoku University Graduate School of Medicine

Toshiharu Nakai National Center for Geriatrics and Gerontology

『東日本大震災の地震動によるMRI装置本体への影響—アンカー止めしていない装置の移動の有無とその要因—』

…栗原市立栗原中央病院 放射線科 引地健生, 宮城厚生協会泉病院 放射線科 前谷津文雄, 国立病院機構仙台医療センター 放射線科 阿部喜弘, 厚生会仙台厚生病院 放射線科 菱沼誠, 東北大学大学院医学系研究科 保健学専攻画像情報学分野 町田好男, 国立長寿医療研究センター 神経情報画像開発研究室 中井敏晴

『Precision improvement of slice profile measurement in three-dimensional MRI using a handmade thin-ramp phantom』

…Rei Yoshida<sup>1)</sup>, Yoshio Machida<sup>2)</sup>, Yuki Ichinoseki<sup>2)</sup>, Hajime Tamura<sup>2)</sup>, Issei Mori<sup>2)</sup>, Takeo Hikichi<sup>1)</sup>

1: Kurihara Central Hospital, 2: Tohoku University Graduate School of Medicine

『自作傾斜板ファントムを用いたMRI-3D撮像におけるプロファイル計測精度向上の検討』

…吉田 礼<sup>1)</sup>, 町田好男<sup>2)</sup>, 一関雄輝<sup>2)</sup>, 引地健生<sup>1)</sup> 1) 栗原市立栗原中央病院 2) 東北大学大学院医学系研究科保健学専攻



第69回日本放射線技術学会総会学術大会において、引地健生診療放射線技師長が銅賞を受賞されました。なお、今回は647組の応募から23組が表彰されました。



## 編集後記

近江商人は、商売は「三方よし」であることをモットーにしました。地域医療における三方よしは「患者よし」「医療者よし」「地域よし」です。それぞれの立場を尊重し合いながら、安心して暮らせる地域作りを目指します。今後ともよろしくお願ひいたします。

